

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第80回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第31回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第80回運営委員会議事録

日 時：5月17日(日)17：30－20：00

場 所：連合大会会場301A号室

運営委員会委員(出席者)：井田茂，林祥介，渡邊誠一郎，

永原裕子，倉本圭，佐々木晶，荒川政彦，中村昭子，城野信一，中本泰史，三河内岳，小久保英一郎，

出村裕英，橘省吾，はしもとじょーじ，高橋幸弘，小林直樹，山本哲生，田中秀和

(欠席者，委任状あり)：中村良介，並木則行，渡部潤一

(欠席者，委任状なし)：杉田精司

オブザーバー：関根康人(東大LOC)，三谷烈史(連合大会プログラム委員)，長沢真樹子(総務専門委員)

〈議 題〉

1. 会計第9期下期決算

中本財務専門委員長より会計第9期下期(2008年度)決算について説明がなされた。資産は650万円である。単年度で145万円の黒字となった。主な要因は、会費滞納分の納入、フロンティアセミナーの補助の減少、遊星人の掲載ページ数の減少による印刷費の減少である。また、事務委託費と業務委託費で項目の振り替えが行なわれている説明がなされた。管理費にクレジット払い手数料23万円が含まれているが、これには立ち上げ分が入っている。講演会関係も予算通り執行された。特別賞関係では、一般会計から移した20万円が支出されている。

小林会計監事による監査が行われ収支計算が確認されている旨報告された。質疑応答の後、会計第9期下期決算は承認された。

2. 会計第10期上期予算執行状況報告

中本財務専門委員長より、会計第10期上期予算執行の状況報告が行われた。現在までのところ、遊星人出版費用、連合大会会議室使用料等が例年通り支出されている。

3. 第9期下期活動報告ならびに第10期活動計画

城野総務専門委員長より第9期下期活動報告ならびに第10期活動計画について、今年度より事業報告を行なう説明がなされた。

質疑応答と記載すべき内容の討論の後、第9期下期活動報告と第10期活動計画は承認された。

4. 学会連合等部会、情報化検討部会の専門委員会化

城野総務専門委員長より、学会連合等部会、情報化検討部会を専門委員会化に伴う会則第14条第3項(1)の改正について説明がなされた(専門委員会化自体は第76回運営会議において承認済み)。

『会則第14条第3項(1)：総務，財務，編集，将来計画，対外協力，欧文誌の6常設専門委員会からなり，会

の業務を執行する。』

会則に名称が列記されていると、専門委員会の新設、廃止の度に、会則改正が必要である。このため、会則を「総務、財務、編集、その他の専門委員会を置き、会の業務を執行する」と改める。この改正で専門委員会の新設、廃止は運営委員会レベルで可能となる。ただし、総務、財務、編集の各委員会を廃止する場合は会則改正が必要である。質疑応答の後、以上の改正が承認された。

新しい委員会の名称として、学会連合等部会を日本地球惑星科学連合連携専門委員会、情報化検討部会を情報化専門委員会とする。

5. 2008年度最優秀研究者賞について

荒川最優秀研究者賞選考委員長より、2008年度最優秀研究者賞の選考結果について報告があった。3月3日に応募を締め切ったところ、本年度は4名の応募者があった。内規に従い3名に絞り込んだ後、本日選考委員会を開催し協議を行い、和田浩二会員を受賞者とする事とした。受賞者は異論なく承認された。

日本惑星科学会最優秀研究者賞内規受賞資格の緩和について提案がなされた。

『日本惑星科学会最優秀研究者賞内規第2条(1)：本会の正会員で、最近5年間に惑星科学への寄与が顕著なる者』

5年以前の業績でも現在引用されて惑星科学に寄与することも多いので、内規をより広く解釈して運用することを考えている。今回の募集においては5年に限らず、すべての業績を提出してもらい、審査は最近5年を中心に行うことにしたいとの報告があった。募集要項等の詳細は、2009年選考委員より改めて提案がある。

6. 連合加盟手続きの承認

永原学会連合等部長より、日本惑星科学連合の社団法人化に伴い、これまで日本惑星科学会が団体会員として登録することが必要になったことが説明された。これについては既にNewsletterで会員に通知し、意見等を募ったが、特にご意見は寄せられていない。質疑応答の後、団体会員として日本惑星科学会を日本地球惑星科学連合へ登録する承認がなされた。

7. 学会賞選考委員の入れ替え

城野総務専門委員長より、2009年度学会賞選考委員の提案がなされた。倉本圭、木村勇氣、田中秀和、永原裕子、吉川真、松田佳久の6名が提案され、承認された。

8. 2009年秋季講演会・学会賞実施案等

永原2009年度秋季講演会組織委員長より、2009年度秋季講演会(9月28日～9月30日)の準備状況が報告された。会場は東京大学本郷キャンパス工学部2号館地下一階である。

新型インフルエンザ対応について影響と対応について説明がなされた。東京大学からの要請で、中止せざるを得ない場合、現場LOCの判断で運営委員会、行事部会に中止を願い出る。中止後は、予稿集は購入者へ郵送、参加費は払い戻す。郵送、払い戻し手数料は学会から援助する。ただし、懇親会のキャンセル料は、申し込んだ人の負担とし、申し込み時に注意書きする。

総会ができなかった場合の対応については学会側も考える必要がある。

9. 2010年秋季講演会について

渡邊2010年度秋季講演会組織委員長より、2010年度秋季講演会の準備状況が報告された。開催は名古屋大学である。

会場は、名古屋大学野依記念学術交流館を予定している。

日程について議論がなされた。他の学会と重ならないためには10月第1週が望ましい。学期始めの第1週目は休講にするのは厳しいとの意見があった。一方で託児は平日が楽であるとの意見もあった。会場を押さえる都合もあり、日程については運営会議のメールで議論し、早めに判断する。

10. 連合大会プログラム委員からの報告

三谷連合プログラム委員より日程調整の報告がなされた。

11. その他

城野総務専門委員長より、第31回総会の議長として荒井朋子会員、書記として和田浩二会員が推薦され、了承された。

橘委員より、日本鉱物科学会から共催依頼が来た場合に了承する旨提案があり、承認された。

〈報告〉

1. 学会サーバ更新について

荒川情報化検討部会長より、新設が認められている新惑星サーバーについて開発状況の報告がなされた。現サーバーは2001年に構築され老朽化し、拡張性が低く、メンテナンスにも不安がある。

新サーバーではWikiを導入する。神戸大のCPSサーバーの構築を手伝い、惑星サーバーにカスタマイズする。6月から9月にテスト運用をする。トップページをHTTPSにするかどうかの議論がなされ、技術的な煩雑さが述べられた。

2. 日本学術振興会賞候補者推薦のお願い

城野総務専門委員長より、荒木博志会員を本学会から推薦することが報告された。一名に絞る必要はないので、締め切りまでに他の推薦があれば、運営会議のメールに連絡する。

3. 入退会状況について

城野総務専門委員長より入退会状況について報告がなされた。一般会員515名、学生会員80名の計595名であり、会員数は600名前後で推移している。厳しい中、賛助会員も検討中を含め8名を保っている。

4. 遊星人の発行状況

田中編集専門委員長より、遊星人の発行状況について報告がなされた。昨年度は総ページ数256ページと少なかった。12月号、3月号ともに一般記事4本である。6月号は校正待ち段階である。9月号からはフロントシアセミナーの講義テキストを3回に分けて掲載する。ニューフェースの記事を周囲に募集してほしい。

◇日本惑星科学会第31回総会議事録

日 時：5月18日(月)12:30-13:30

場 所：日本地球惑星科学連合2009年大会会場 304号室

(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1幕張メッセ国際会議場)

正会員：595

定足数：60

参加人数：66

委任状：99通(議長：96、林祥介：2、佐々木晶：1)

1. 開会宣言

城野総務専門委員長が開会を宣言

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に荒井朋子会員、書記に和田浩二会員が選出された。

3. 議 事

3.1. 第9期下期(2008年度)活動報告

・基調報告

林前会長から第9期下期の活動報告がなされた。

賛助会員への活動報告を行うためのリスト作成中である。

クレジットカードによる会費支払いシステムが稼動し、それに伴い手数料を支出計上している。

惑星科学会サーバのバージョンアップを開始した。

各委員会において自発的に持続的システムの構築を望む。

・会計報告

中本財務専門委員長より2008年度の会計報告がなされた。

一般会計

収入：2007年より会費値上げしたことと滞納分減少により収入微増。

支出：遊星人(出版関係)ページ数が微減したことにより執行額が減じた。他は予定通りであった。

収支：150万円ほど黒字となった。

特別会計(学会賞)

予定通り、一般会計から20万円計上した。

質疑

なし

・会計監査報告

小林会計監事不在のため城野総務専門委員長が代読し、特に問題なしと報告された。

・各種専門委員会報告

2008年度最優秀研究者賞受賞者発表

荒川学会賞選考委員長より和田浩二会員に決定されたことが報告された。

選考委員会による決定経過報告：4名の応募があり1次審査にて3名に絞られ、2次選考を経て決定。運営委員会にて了承された。

・質疑応答及び討論

なし

・採択

第9期下期活動報告の採択が行われ、賛成多数により採択された。

3.2. 第10期上期(2009年度)活動方針

・基本方針

井田会長より報告された。皆さんよろしくお願ひしますとの挨拶。研究者として楽しむことが大事であり、それが若い人にもアピールになる。また、大きなイベントとしては学会サーバの更新と連合問題がある。連合に関しては、惑星科学会が積極的に貢献することが望まれる。惑星探査についても大変であるが面白く楽しくやっていくべきである。

・学会連合等部会、情報化検討部会の専門委員会化について

林副会長より報告された。連合に対するコミットメント、また技術の高度化に対応するために学会連合等部会および情報化検討部会の専門委員会化とそのための会則改正の願ひをする。会則改正としては専門委員会の改廃手続きを簡素化することを提案。

骨子は下記の通り：

『総務、財務、編集、「その他の専門委員会」をおき、その他の専門委員会については運営委員会にて改廃を決定できる』

荒川情報化検討部会長より新サーバ導入の経緯と内容について報告された。

経緯としては、2008年秋委員会より新サーバ開発準備認められ、2009年3月23日にイーサイドにて会合が開催され開発方針決定された。

現行は2001年に開発されたものであり、10年前の技術で老朽化し、汎用性低く、イーサイドの室崎さんのみがメンテナンス可能という現状であり、今後のメンテナンス体制が不安である。このような観点から、新サーバの導入が必要であり、定常運用を必須とするシステムの継続性を保証する必要がある。また、新しいニーズとして学会員の研究活動を支援するWikiシステムの導入や、秋季学会での発表件数に応じた従量制課金システムの導入がある。

開発基本方針としては、Web用コンテンツマネジメントシステム(Blog,Wiki等)の流行をふまえ、Xoopsを基盤とした新サーバを開発し、汎用性の高いオープンソースとする。また、惑星科学研究センター(CPS)にてXoopsを基にした汎用支援システムを開発しており、これをもとに学会システムを開発する予定である。

開発予算は100～200万円を想定している。

2010年5月下旬から本格的に運用することを想定している。

さらに新サーバ利用実演が行われた。

・各種専門委員会活動方針

財務専門委員：中本財務専門委員長より報告

現在の予算執行状況(2009年度会計中間報告)が報告された。

その際賛助会員が列挙され謝意が表明された。

予算どおり進行している。収入については、約400名が学会費支払い済みである。支出については、遊星人第1号分および連合大会会議室利用料を支払った。

・質疑応答及び討論

なし

・採択

第10期上期活動方針の採択が行われ、賛成多数により採択された。

3.3. 会則改正(専門委員会の新設に伴う)

城野総務専門委員長より説明がなされた。

会則14条第3項(1)を改正したうえで、日本地球惑星科学連合連携専門委員会、情報化専門委員会の2つを新設。

現会則

会則14条第3項(1)

総務、財務、編集、将来計画、対外協力、欧文誌の6常設専門委員会からなり、会の業務を執行する。

新会則

会則14条第3項(1)

総務、財務、編集、その他の専門委員会を置き、会の業務を執行する。

・質疑応答及び討論

(平田会員)専門委員会の改廃権限は？

(城野)総務、財務、編集の場合は会則改正必要。そのほかは運営委員会で可能。

・採択

会則14条第3項(1)の改正について採択を行い、賛成多数により採択された。

4. 報告事項

4.1. 2009年秋季講演会について

永原東大LOC委員長より2009年秋季講演会について説明がなされた。内容は以下のとおり。

日程：9月28日(月)～30日(水)

場所：東大本郷キャンパス工学部2号館を講演会場とする。またポスターは常設掲示可能である。懇親会は山上会館で行う。

スケジュール：

6月18日申込開始。

7月10日発表賞申し込み締め切り。

7月17日講演申し込み締め切り。

8月27日事前参加申し込み講演要旨投稿締め切り。

インフルエンザ対策：LOCによって中止が判断される。中止した場合には、参加費を払い戻し、予稿集は郵送する。懇親会費等の諸経費に関しては、1週間以内のキャンセルがあった場合には一部負担をお願いする。

その他：詳しい問い合わせは関根康人会員までお願いする。

4.2. 学会賞授賞式：2007年度最優秀研究者賞

生駒大洋会員(東京工業大学)が昨年度授賞式に欠席されたため、本会で改めて表彰する運びとなった。

4.2.1. 表彰状贈呈

林前会長より受賞者の生駒会員へ表彰状が贈呈された。

4.2.2. 受賞者挨拶

生駒会員より受賞の挨拶があった。

4.3. その他

なし

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2009年9月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は以下の通りです。
社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

アメテック株式会社カメラ事業部

宇宙航空研究開発機構

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

シャープ株式会社

有限会社テラパブ

株式会社ニュートンプレス

(財)リモート・センシング技術センター